

改憲・戦争・

原発・首切りの

安倍たおせ!

7・5大集会が1530人の結集
で成功! 集会後は都心をデモ!

衆院採決阻止の7/15国会デモへ!

◆ゼネストと国際連帯で戦争とめよう!

7月5日、虎の門・ニッショーホールで「7・1閣議決定1周年 改憲・戦争・原発・首切りの安倍をともに倒そう! 7・5大集会」が1530人を結集し開催されました! この集会で『戦争法と改憲を許さない東京宣言』(裏面掲載)が全世界へ発せられました。ここで明らかなように、労働者・学生のゼネストと国境をこえた団結(国際連帯)こそが戦争を止める力です。

◆7/14法大デモ~7/15国会闘争へ!

戦争法案阻止へ、7月15日までの一週間が最大の山場になっています。安倍政権は、戦争法案採決の前提となる中央公聴会を13日に開催。15日にも特別委員会で採決し、16日に衆院本会議で可決を狙っています。しかし、連日国会前は万余の人々に包囲され、追い詰められた安倍政権は百田尚樹暴言問題など、どんどん内部崩壊しています。

国会前行動とともに、学生のキャンパスからの決起が情勢を変えます! 7・14法大デモ~7・15国会行動に立ち上がろう!

●7・14法大包囲デモ

7月14日(火) 12:40集合 13時デモ出発
@法政大学市ヶ谷キャンパス

●民主労総ゼネスト連帯

衆院強行採決絶対阻止

7・15国会包囲行動

7月15日(水)

9時~終日国会前にて座り込み

12~13時 霞ヶ関 - 国会デモ

(11時半に日比谷公園霞門集合)

15~17時 国会前集会

(衆議院第二議員会館前にて)

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp <http://www.zengakuren.jp>

「戦争法と憲法改悪をゆるさない東京宣言」

日本全国・全世界の皆さんへ。

「命と生活」のために、いま全世界で人々が闘いに立ち上がっています。そして、日本の私たちは、安倍政権による憲法改悪と戦争法を絶対に許さない闘いの真っ只中です。世界で最も危険な右翼軍国主義者と警戒される日本国首相・安倍晋三。国会は連日万余の人民に包囲され、また安倍は「慰霊の日」の沖縄から怒号の中で追い返されました。私たちは、その安倍政権と人民との日本戦後史の決着点をつける闘いに、ゼネストで決起する韓国民主労総80万労働者に限りなく激励されながら突入しています。

(1)戦争放棄の憲法9条を踏みにじり、集団的自衛権行使を認めた閣議決定から1年が経ちました。安倍政権は、国会会期を戦後最長の95日間延長してまで11本の戦争法案の成立を企んでいます。

ときの内閣が「我が国と密接な関係にある他国に対する攻撃」と認めさえすれば、「憲法9条のもとで許される自衛の措置」と言いながら、自衛隊が地球上どこでも武力行使ができる。しかも、その「他国」とは「北朝鮮以外は排除しない」と岸田外相が国会で答弁し、安倍首相は「朝鮮半島有事も存立危機事態」として判断できると明言しています。

(2)こうした戦争法を「憲法違反」と明言した憲法学者の国会証言は、安倍政権に痛打を浴びせました。追い込まれた安倍が唯一すがりついているのが、1959年の砂川判決最高裁判決です。田中耕太郎最高裁判官が駐日アメリカ大使と密談を重ね、「駐留軍は違憲」とした東京地裁判決を覆すことを約束して出されたのが、この最高裁判決です。こんなものにすがって戦争法の成立をもくろむ安倍政権は、即刻倒すしかありません。

(3)私たちは、ますます強く何度でも「戦争絶対反対」を叫びます。あの第二次世界大戦で奪われた日本人民310万人・アジア人民2000万の命の無念。、これを引き継いで戦争責任を問い、生きるために戦後革命に決起した労働者人民。この不退転の思いと闘いが、戦後革命は未完に終わったとはいえ、憲法9条「戦争放棄」を支配者に強制していったのです。

安倍ら右翼ファシストにとっては、ここにはじまる戦後史は「屈辱、墮落の戦後レジーム」として「脱却」すべきものでしかない。だが、それは戦後社会に生きてきた人民の「命と生活」の価値観と真っ向から衝突する。ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ・沖縄の苦しみと怒り、1947年2・1ゼネスト敗北を乗り越えようと苦しみ続けている労働者階級の誇りがあります。まさしく「安倍と資本家のために死んでたまるか!」です。

戦後最大の労働者攻撃であった新自由主義による国鉄分

割・民営化をストライキで打ち破った動労千葉は、団結を強化し、今や外注化・民営化と安全破壊に真っ向から立ち向かっています。また動労千葉は、福島第一原発事故の放射能被曝列車運行をストライキで阻止し、地域住民・原発労働者の決起を生み出そうとしています。

(4)ギリシャをはじめ世界を覆う大恐慌はいよいよ深まり、ウクライナ・中東・東アジアから世界戦争・核戦争の危機が迫っています。

韓国の民主労総が、パククネ政権打倒の第二次ゼネストを7月15日に決行すると発表しました。アメリカ・ヨーロッパ人民の闘いも沸騰しています。次の2点をすべての皆さんと確認したい。

ひとつは、戦争は、一握りの支配力階級の利益のためだけに行われるということ。そしてこの戦争を止めることができるのは、労働者階級人民であること。職場で闘い、団結をつくり、労働運動をよみがえらせよう。そして大学キャンパスから自治会旗のもとに学生は団結し、戦争絶対反対の先頭に立とう。

もうひとつは、「自国政府打倒」の国際連帯、労働者人民は世界的に一つです。国境も領土も存在しません。排外主義と国益主義に打ち勝って、人民を殺し殺される関係に追いつく自分の国政府を、それぞれで倒す。日・米・韓の労働者人民の連帯、とりわけ韓国民主労総との連帯が決定的です。

(5)自民党は、来年の参議院選挙を経て、明文改憲の第1回国民投票として「緊急事態条項」新設案を出すと言っています。政局は激動していますが、安倍政権と私たちの未来をかけた決戦はすでに始まっています。

桜井よしこや葛西敬之（JR東海名誉会長）らが「美しい日本の憲法1000万人賛同署名」運動を進めています。また、自民党青年局が300万枚のピウを用意して「二度戦争を起こさないための抑止力」などと叫んで一斉に街頭にでましたが、大勢の人々が包囲して退散させてしまいました。

私たちは、次の3本のスローガンの下に「戦争絶対反対! 許すな改憲! 1000万人署名運動」を始めます。改憲絶対反対の声が職場と街頭にあふれる状況をつくりましょう。

◎沖縄・福島の怒りとともに、安倍政権を倒そう!

◎労働運動をよびがえらせ、憲法改悪を阻もう!

◎国境を越えた人々の連帯で、戦争を阻止しよう!

民主労総の第2次ゼネストと連帯し、戦争法案を阻止する7・15国会闘争に全力で決起し、7月国会闘争を闘い抜こう。そして安倍を迎え撃つ8・6ヒロシマー8・9ナガサキ闘争、「70年安倍談話」粉碎の8・15闘争をともに闘おう。

「7・1閣議決定」一周年

改憲・戦争・原発・首切りの安倍をともに倒そう! 大集会